

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E142J021		美学・美術史演習 (Introduction to Aesthetics and Art History)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員												
選択	2	4	教育学部 平成31年度以前入学生 用			氏名 田中 修二  E-mail tnkshj@oita-u.ac.jp 内線 7596												
授業の概要	美学・美術史の基礎的な知識をふまえ、より専門性の高い調査・研究の方法を身につけるとともに、学校教育における鑑賞活動や地域・美術館等との連携などについての考察を深めていく。																	
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 適切な研究テーマを選び、資料等の調査ができるようになる																		
目標2 学術論文の形式に沿った文章が書けるようになる																		
目標3 美術作品やその歴史等についての自分の見方・考え方を伝えられる																		
目標4																		
目標5																		
目標6																		
目標7																		
目標8																		
目標9																		
目標10																		
授業の内容																		
1 はじめに																		
2 地域とその歴史について知る(フィールドワーク1)																		
3 地域と美術の関係を探る(フィールドワーク2)																		
4 研究の視点を見つけ出す(フィールドワーク3)																		
5 美術館について知る(フィールドワーク4)																		
6 作品展示について考える(フィールドワーク5)																		
7 学芸員の仕事を学ぶ(フィールドワーク6)																		
8 美術の見方(時代・地域・作者・作品など)																		
9 資料の探し方(基本文献、ウェブ検索など)																		
10 資料の読み方(書誌データと目次、内容のとらえ方、批評的な読み方)																		
11 口頭発表(資料の紹介の仕方)																		
12 論文・レポート等の書き方																		
13 鑑賞の活動の指導について																		
14 口頭発表(論文要旨)																		
15 まとめ																		
ラ ア ク ニ テ ン イ グ レ プ	A:知識の定着・確認	演習。フィールドワーク。グループでの話し合い。口頭発表					工 夫 そ の 他 の											
時間外学修 の内容と時 間の目安	準備 学修	自分が選んだテーマに基づいて、資料収集等の調査と研究を進める(15h)																
	事後 学修	フィールドワークなどの結果をふまえて、さらに調査を進めていく(15h)																
教科書	特になし(各自の調査・研究内容に応じて適当な書籍等を指示する)。																	
参考書	授業中に指示する。																	
成績 評 価 の 方 法 及 び 評 価 割 合	評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10						
	発表	50%																
	レポート	50%																
注意事項																		
備考																		
リンク	URL																	